

■教職員の皆様へ■

小中一貫教育を推進していくにあたって本校区3校が協働してこれまで行った具体的な取り組みについてご紹介します。各校区での取り組みの一助にいただければ幸いです。

(1) 本校区の分類について

熊本市の小中一貫教育における本校区の3校（植木北中学校・吉松小学校・田底小学校）の分類は「Bグループ（小複中1）」に該当。

(2) これまでの取り組み

・令和3年度

熊本市「小中一貫教育モデル校」の指定を受け、3校で研究を進める。

→「(保)小中一貫教育目標」と「小中一貫カリキュラム」を作成。

・令和4年度

次年度からの「小中一貫型小学校・中学校」移行に向け、従来実施されていた「小中連携の日」の運営方法をより効果的なものとするために、3校校長による準備会議を実施。

→本校区3校の小中一貫教育の構想を練る。→構想図（別紙）案を作成。

この会議で、6つの「小中一貫教育で目指す子ども姿」の中で今年度（準備期間）と来年度（小中一貫校スタート）の2年間における重点目標として「自ら考え、主体的に行動できる子ども」とすることを決定（※構想図内赤字部分）。

また、小中一貫校（植木北中学校区）の連携の柱を以下①～③とすることを確認。

- ① 学習の充実と確かな学力の獲得
- ② 多様性を認め合える確かな人権感覚の涵養
- ③ 場に応じたデバイスの利用とメディアコントロール

構想図の中の本校区の小中一貫教育を具体的に支える「4本の矢印（学習指導・生徒指導・人権教育・特別支援教育）」をそのまま「小中連携の日」の部会とし、部会では各校ならびに校区の実態を踏まえ、「小中一貫教育目標」・「小中一貫教育で目指す子どもの姿」に照らして、共通して取り組む内容を小中学校の教員が協働して決定（※構想図参照）。

さらに、小中一貫型小学校・中学校としての連携を確実かつ円滑に進めるために、各校に「小中一貫教育コーディネーター（各校の教務主任が担当）」を位置づけることを確認。小中連携の日の第5の部会として「小中一貫教育コーディネート部会」を設置。

2学期実施予定の小中連携の日（第2回）では、小学校にて小中一貫カリキュラムを意識した「算数」・「総合的な学習」・「人権学習」の授業を実施し、3校の教職員で研修を深める予定。

(3) 参考資料

令和4年度の「第1回小中連携の日実施計画」「小中連携後アンケート」および「令和4年度から令和6年度までの小中連携（一貫）の日の運営担当校について」を「参考資料コーナー」に収納します。部会設定・運営等の参考になれば幸いです。

令和4～5年度

植木北中学校区（植木北中学校・吉松小学校・田底小学校）の小中一貫教育

【熊本市教育振興基本計画 基本理念】

豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む

【小中一貫教育で目指す子どもの姿】

- ・豊かな心を持つ子ども
- ・自ら考え、主体的に行動できる子ども
【令和4～5年度の重点目標】
- ・心身ともにたくましい子ども
- ・協力して、共に学び合い、高め合う子ども
- ・何事にも挑戦し、やり抜く子ども
- ・私たちの地域・植木町を大切にする子ども

【小中一貫教育目標】

共に学び、たくましく、夢に向かって挑戦する植木っ子

- ・系統性・連続性を重視した「小中一貫カリキュラム」の作成
（①学習の充実 ②確かな人権感覚の育成 ③メディアコントロール）
- ・「小中連携の日」の効果的な運営による小・中学校の教職員の共通認識に基づいた連携と協働（各校に「小中一貫教育コーディネーター」を位置づけ）
- ・学校・保護者・地域が一体となった取り組み

中学校課程	中3	後期	発展	
	中2			
	中1	中期		習熟・充実
小6				
小5				
小4	前期		基礎・基本の形成	
小3				
小2				
小学校課程	小1			

学習指導
9年間を見通した学習指導の充実
■連続性のあるノート指導の実践
■UDの視点を取り入れた板書方法の共有と実践
■小中間の垣根を越えた授業研究会への職員の相互参加と研修

生徒指導
発達段階に応じた指導の共有と実践
■系統性のある生徒指導の柱についての共通理解
■校種を越えた情報モラル教育（出前授業）の推進
■校則の見直しの具体的実践についての情報共有

人権教育
「多様性」を認め合う人権感覚
■年間指導計画の共有と授業実践
■小中間の「子どもフォーラム」についての情報共有と相互参観
■人権教育に係る講演会の開催と小中間での相互開放

特別支援教育
連続性のある特別支援教育
■小中支援内容の引継ぎの充実
■小中間での会議と研修の共有
■「合同学習会」「交流会」の実施
■「挨拶・返事」についての連続した指導と支援

豊田保育園
田底保育園
との連携

小中一貫型小学校・中学校としての取り組み
小中一貫教育に対する保護者・地域の理解と協力